



Contents *賃貸住宅フェア 2013 in 大阪

*お声掛けください *ダイエット日記 *今月のえすたにゃん *コラム

佐久間敬子がお伝えする 賃貸住宅フェア 2013 in 大阪



今年で12回目を迎えた賃貸住宅フェア大阪。賃貸業界の祭典ということもあり、『お祭り女』の私は、どんな会社がどんなサービスを提供しているのか？行く前からワクワクしておりました。今回は、この賃貸住宅フェア大阪について、「初参加」の私、佐久間がお伝えします。

佐久間 敬子

◆負の連鎖で

年々縮小傾向にあり!?

今年も、例年通りインテックス大阪で開催され、来場者が、二日間で16,301人。今回初参加のため、昨年や以前がどのような雰囲気だったのかはわかりませんが、皆さん口々に、「活気がない」という声が多かったように思います。

その理由として、会場の真ん中には休憩スペースや、商談スペースなどが、かなりのスペースを取っていたことがあげられます。このようなスペースを設けられるということは過去にはなかったようです。また、フェアの特徴である、コンパニオンも以前まではたくさんいたようですが、ほとんど見受けられませんでした。そんな盛り上がりには欠けると言われていた、賃貸住宅フェアでしたが、冒頭でも記載した通り、私には十分楽しめるものでありました。



佐久間View①

事業部の先輩Tが口を開きました。「昨年は太陽光とか高齢者住宅系が目立つけど、今年は目玉商品がないな。佐久間！毎年、賃貸住宅フェアはその年に流行しているものが、出展されることが多いな。でも、今年はないな。強いて言えば、24時間駆け付けサービスとかインターネット無料マンションとかかな!？」

そんな先輩Tの言葉を聞いて思いました。賃貸市場に活気がない訳ではない。なぜなら、住宅の住み替え需要自体なくなることはないから。

では、なぜ、フェアに活気がないのか？それは、「企業が出展をしても以前のように成約に繋がりにくくなっていることから、出展を見合わせる企業が多くなった」ということではないかと思えます。出展企業数が少なくなれば、フェア自体の魅力が減少します。当然来場者の興味が薄れ、フェアに足を向けなくなる…といった負の連鎖の原因だと考えることができますね。